

フランスの核戦力一覧

2016年6月1日現在

名称	核弾頭の種類	核弾頭の威力 (キロトン)	核弾頭数	備考
作戦配備			280	
潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM) 1)			240	
MSBS M51 2)	TN75	100	240	3)
爆撃機など航空機搭載			40	
爆撃機搭載 ASMPA 4)	TNA	可変~300	40	5)
空母艦載機用 ASPMA 6)	TNA	可変~300	0	7)
作戦外貯蔵			~10	
SLBM			~	
爆撃機など航空機搭載			~10	8)
退役・解体待ちなど			~10	9)
全保有数			300	

【概要】

大枠となる弾頭数について公的情報がある。サルコジ大統領が「300弾頭以下に削減する」と発表（2008年3月21日）（Sarkozy, Nicolas M. 2008.03）したのに続いて、オランド大統領がその完了を含め現状を確認した（2015年2月19日）（HOLLANDE François 2015）。2015年NPT再検討会議に提出した報告書（Government of France 2015）で、弾頭数が300以下であること、潜水艦発射弾道ミサイル数が1隻あたり16基で3隻分あること、空中発射核巡航ミサイル数が54発であることなど大統領演説の内容を再確認した。54発という数字は、この一覧表では、作戦配備の「爆撃機など航空機搭載」40発と作戦外貯蔵の「爆撃機など航空機搭載」10発との合計50発に該当するが、差の4発はその後退役して予備弾頭になったと推定される。核兵器関連費用は全軍事費の約3分の1と見積もられるが、2015年の場合約28万ドルと見積もられ、別の試算では42万ドルに達する（Kristensen, Hans M. 2015）。

【脚注】

- 4隻のトリオンファン級(※)原子力潜水艦 (SSBN) : トリオンファン、テメレール、ビジラン、テリブルに搭載。うち少なくとも2隻が完全作戦体制にあり、そのうちの1隻が抑止パトロール (約10週) に就いている。基地はプレスト近くのロング島 (Ile Longue) という半島 (Kristensen, Hans M. 2015)。
※【トリオンファン級】前型最後のSSBNアンフレキシブルは2008年1月に退役 (Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008)。2010年9月20日、テリブルが就航し4隻体制になった。16基のミサイル発射管を装備する。
- MSBS=Mer-Sol Balistique Stratégiqueの頭文字。フランス語で「艦対地戦略弾道ミサイル」。旧型M45 (射程4,000 km以上、6弾頭MIRV可能) から射程が長く、搭載重量が大きく、精度も高い新型M51に転換中。4隻中2隻はすべてM51を搭載 (Kristensen, Hans M. 2015)。(現在のバージョンは51.1と名付けられる)。その発射実験は2010年1月27日と7月10日に行われた。2013年5月5日、ビジランからの発射実験に失敗した (Collin, Jean-Marie 2013)。M51は熱核弾頭TN75(※)を装着。2016年からTN75がTNO (Tête Nucléaire Océanique、海洋型核弾頭) になり、ミサイルはM51.2に置き換わる予定 (Kristensen, Hans M. 2015)。
※【TN75】フランスが1995~96年、ムルロアで行った最後の核実験で実証実験が行われた熱核弾頭。TNIはフランス語の核弾頭 (Tête Nucléaire) の頭文字。
- 4隻のうち3隻に交替で弾頭が装備される運用体制と考えられ、1隻はオーバーホール (Kristensen, Hans M. 2015)、3隻×16発射管×(4-6) MIRVと弾頭数が計算される。平均すると5発の多弾頭運用となる。
- ASMPA=Air-Sol Moyenne Portée Amélioréeの頭文字。フランス語で「空対地中距離改良型」。射程500 kmの巡航ミサイル。弾頭はTNA (Tête Nucléaire Aéroportéeの頭文字。航空核弾頭)
- 2種類の戦闘爆撃機ミラージュ2000N(※)、ラファールF3(※)各20機に搭載。1機あたり1弾頭。(Kristensen, Hans M. 2015)
※【ミラージュ2000N】1988年に作戦配備。2009年にASMPAを装備。航続距離2,750 km。(Kristensen, Hans M. 2015)
※【ラファールF3】2008年に作戦配備。2010年にASMPAを装備。航続距離2,000 km。(Kristensen, Hans M. 2015)
- フランスが持つ唯一の空母シャルル・ドゴール (R92、原子力推進) の艦載機ラファールMF3(※)の10機が核任務をもつ。以前はシュペール・エタンダールがこの核任務を担っていたが、ラファールMF3にとって代わられた。前者は2016年に退役予定 (Kristensen, Hans M. 2015)。
※【ラファールMF3】2010年に作戦配備。2011年にASMPA装備。航続距離2,000 km (Kristensen, Hans M. 2015)。
- 空母シャルル・ドゴールには、平時において核兵器は搭載されていない。艦載機ラファールMF3に搭載のためのASMPA約10発は陸上基地 (おそらくイストレ (Istres) 航空基地) に貯蔵されている (Kristensen, Hans M. 2015)。その意味で、中国の場合と同様に作戦外貯蔵に分類した。
- 空母艦載機用ASMPA約10発を含む。
- オランド大統領の発表では、「非配備の核兵器はない」と述べた (HOLLANDE François 2015)。2015NPT再検討会議でも同様の報告を行った (Government of France 2015) が、米国の「即応核戦力」のような目的で非配備の予備核兵器をもっていない、という趣旨と思われる。実際には核弾頭の維持サイクルの中で、作戦貯蔵にはない、新しい弾頭、修理中の弾頭、解体を待っている弾頭などが少数であると推定される (Kristensen, Hans M. 2015)。

【出典】

Collin, Jean-Marie 2013: "The M51 missile failure: where does this leave French nuclear modernization?," BASIC Blog, June 27, 2013. <http://www.basicint.org/blogs/2013/06/m51-missile-failure-where-does-leave-french-nuclear-modernization> (2015.5.30 アクセス)

Government of France 2015: "Report submitted by France under actions 5, 20, 21 of the Final Document of the 2010 Review Conference of the Parties to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons," (NPT/CONF.2015/10) 12 March 2015.

HOLLANDE François 2015: "Speech on Nuclear Deterrence," 19 February, 2015. 非公式英訳 : <http://acdn.net/spip/spip.php?article921&lang=en> (2016.5.12 アクセス) 抜粋和訳 : <http://www.peacedepot.org/nmtr/bcknmbr/nmtr470.pdf> (2016.5.12 アクセス)

Kristensen, Hans M. 2015: Chapter 'France,' "Assuring Destruction Forever: 2015 EDITION," edited by Ray Acheson, 2015, Reaching Critical Will. <http://www.reachingcriticalwill.org/images/documents/Publications/modernization/assuring-destruction-forever-2015.pdf> (2016.5.12 アクセス)

Kristensen, Hans M. & Norris, Robert S. 2016: "Status of World Nuclear Forces," Website of FAS. <http://fas.org/issues/nuclear-weapons/status-world-nuclear-forces/> (2016.5.12 アクセス)

Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008: "French nuclear forces, 2008," *Bulletin of the Atomic Scientists*, September/October, 2008.

Sarkozy, Nicolas M. 2008: English version: "Presentation of SSBM 'Le Terrible' – Speech by M. Nicolas Sarkozy, President of the Republic," 21 March 2008
<http://www.ambafrance-uk.org/President-Sarkozy-s-speech-at,10430.html> (2013.7.10 アクセス)。抄訳：「ニコラ・サルコジ共和国大統領の演説」、イアブック：核軍縮・平和2008（監修：梅林宏道、NPO法人ピースデポ）pp.250–252.

©RECNA 核弾頭データ追跡チーム